

令和2年の火災・救急・救助概要について

加古川市消防本部

火 災 概 要

1 火災件数

- (1) 令和2年の火災件数は96件で、前年と同件数となっています。
- (2) 火災種別毎の火災件数を前年と比較すると「建物火災」は53件で2件の減少、「林野火災」は4件で2件の増加、「車両火災」は10件で1件の増加、「船舶火災」は前年と同様で0件、「その他火災」は29件で1件の減少となっています。
- (3) 全火災(96件)のうち建物火災の占める割合は55.2%となっています。

市町別	火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	増 減 数
加古川市		34	4	7		24	69	- 10
稲美町		11		3		3	17	+ 6
播磨町		8				2	10	+ 4
合 計		53	4	10	0	29	96	±0
増 減 数		- 2	+ 2	+ 1	±0	- 1	±0	

2 被害程度

(1) 人的被害

ア 火災により42世帯93人が、り災しています。

イ 「死者」は4人発生して前年と比較すると2人の減少、「負傷者」は21人発生して2人の増加となっています。

市町別	区分	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
加古川市		25	52	2	15
稲美町		10	25	2	4
播磨町		7	16		2
合 計		42	93	4	21
増 減 数		- 1	±0	- 2	+ 2

(2) 物的被害

- ア 建物火災の焼損床面積は1,383㎡で前年と比較すると359㎡の増加となっています。
 イ 建物火災による損害額は1億8,338万9千円で前年と比較すると1億2,439万5千円の増加となっています。

区分 市町別	建物焼損 床面積 (㎡)	床面積 増減数 (㎡)	損害額 (千円)	損害額 増減数 (千円)
加古川市	799	+278	100,362	+76,003
稲美町	486	+79	71,369	+50,265
播磨町	98	+2	11,658	-1,873
合計	1,383	+359	183,389	+124,395

3 主な出火原因

全火災(96件)の出火原因を見ると、「ごみ焼き」が23件で全体の24.0%と最も多く、次いで「たばこ」が11件、「配線器具」が6件、「こんろ」、「電気機器」、「溶接機等」が各4件、「放火」、「放火の疑い」が各3件となっています。

市町別 火災種別 原因別	加古川市						稲美町						播磨町						合計
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	
ごみ焼き (枯草焼き等)	5	3			9	17	1				3	4	1				1	2	23
たばこ	4				2	6	1		1		2	2	2				1	3	11
配線器具	4					4	2				2								6
こんろ	3					3							1					1	4
電気機器	2					2	1				1	1	1					1	4
溶接機等	2				1	3							1					1	4
放火					3	3													3
放火の疑い		1			1	2	1				1								3
不明	2		1		1	4	2				2	1						1	7
その他	12		6		7	25	3		2		5	1						1	31
合計	34	4	7	0	24	69	11	0	3	0	3	17	8	0	0	0	2	10	96

4 その他災害の活動状況

- (1) 令和2年のその他災害の件数は1,307件で、前年(1,260件)と比較すると47件増加しています。
- (2) その他災害種別毎の件数を前年と比較すると「危険物排除」は72件で5件の増加、「燃焼物排除」は34件で6件の減少、「警戒・警備」は45件で12件の増加、「誤報」は152件で32件の増加、「水防」は3件で7件の減少、「調査」は9件で1件の増加、「救急支援」は915件で22件の増加、「その他」は77件で12件の減少となっています。
- (3) 全その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は70.0%となっています。

種 別	内 容	加古川市	稲美町	播磨町	他 市	小 計	合計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出	2				2	72	+5
	交通事故等による油流出	54	9	7		70		
燃焼物排除	枯草・あぜ焼き	11	2	2		15	34	-6
	ごみ焼き	14	3	1		18		
	火あそび			1		1		
警戒・警備	異臭・異音	3				3	45	+12
	危険物流出事故の警戒	3	2	2		7		
	防災ヘリ等の離着陸場の設定、誘導、警戒	23	4	3		30		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒		3			3		
	鎮火後の現場警戒	1	1			2		
誤 報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	112	6	8		126	152	+32
	火災と見誤ったもの (水蒸気、畦焼きの煙等)	14	3	4	3	24		
	虚偽の通報			2		2		
水 防	風水害等の活動又は警戒	2		1		3	3	-7
調 査	事後に知り得た災害事故調査	8		1		9	9	+1
救 急 支 援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	605	52	59		716	915	+22
	高速道路、バイパス、国道、県道等における活動隊の安全管理	93	1	16		110		
	傷病者の搬出における支援	41	8	7		56		
	上記の内容に該当しないもの	28	1	4		33		
そ の 他	上記の種別に該当しないもの	54	13	9	1	77	77	-12
合 計		1,068	108	127	4	1,307	1,307	+47

救 急 概 要

1 救急出動件数

(1) 令和2年の救急出動件数は15,435件、搬送人員数は14,280人で前年と比較すると救急出動件数は1,687件減少(-9.9%)、搬送人員数は1,840人減少(-11.4%)しています。

(2) 救急出動件数は1日平均42.2件(前年46.9件)で、34.1分(前年30.7分)に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は69件(前年83件)となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.2分(前年比+0.1分)となっています。

市町別	区分	救急件数	増減数	搬送人員	増減数
加古川市		12,438	- 1,321	11,486	- 1,491
稲美町		1,389	- 190	1,302	- 193
播磨町		1,598	- 170	1,483	- 152
他市		10	- 6	9	- 4
合計		15,435	- 1,687	14,280	- 1,840

2 事故種別救急出動件数

事故種別については、「急病」が9,840件で最も多く、前年より1,290件減少したものの全体の63.8%を占めています。

区分	事故種別	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件数		9,840	2,422	1,252	1,222	699	15,435
比率		63.8	15.7	8.1	7.9	4.5	100
増減数		- 1,290	- 114	- 230	- 78	+ 25	- 1,687

3 傷病程度別搬送人員数

傷病程度別については、「中等症」が6,725人で最も多く、前年より258人減少したものの全体の47.1%を占めています。

区分	傷病程度	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数		5,524	6,725	1,795	236	14,280
比率		38.7	47.1	12.6	1.6	100
増減数		- 1,576	- 258	- 14	+ 8	- 1,840

4 年齢区分別搬送人員数

年齢区分別については、「高齢者」が8,654人で最も多く、前年より700人減少したものの全体の60.6%を占めています。

年齢区分 区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	11	738	543	4,334	8,654	14,280
比率	0.1	5.2	3.8	30.3	60.6	100
増減数	- 8	- 382	- 252	- 498	- 700	- 1,840

5 病院収容所要時間別搬送人員数

(1) 救急事故の覚知から傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が7,878人で最も多く、全体の55.2%を占めています。

(2) 病院収容所要時間の平均は33.7分（前年比+1.8分）です。

所要時間 区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	2	582	5,297	7,878	501	20	33.7分
比率	0.1	4.0	37.1	55.2	3.5	0.1	
増減数	- 7	- 341	- 1,481	- 150	+ 139	±0	

6 心肺機能停止傷病者の救命率

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者53人のうち、「1ヵ月後生存者」は5人（1ヵ月後生存率9.4%）、「1ヵ月後社会復帰者」は4人（1ヵ月後社会復帰率7.5%）となっています。

区分 年	心肺機能停止 傷病者数	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者数				
		1ヵ月後 生存者数	1ヵ月後 生存率	1ヵ月後 社会復帰者数	1ヵ月後 社会復帰率	
令和2年	299	53	5	9.4%	4	7.5%
令和元年	301	55	8	14.5%	4	7.3%

7 新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数

令和2年の新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数は252人で、このうち陽性者数は53人です。

市町別 区 分	新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送人員数		
		PCR検査実施者数	
			陽性者数
加古川市	215	125	43
稲美町	13	5	0
播磨町	24	23	10
合 計	252	153	53

救 助 概 要

1 救助出動件数

(1) 令和2年の救助出動件数は344件で、前年と比較すると57件増加しています。

(2) 事故種別毎の救助出動件数で、最も多いのは「建物等による事故」の172件(50.0%)、次いで「交通事故」の57件(16.6%)となっています。

なお、建物等による事故とは、建物内での「挟まれ」や「閉じ込め」、また、「施錠された建物内での安否確認」等も含まれています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	34	41	5		2	142	4	36	264	+ 41
稲美町	12	13	1			9		2	37	+ 12
播磨町	7	3	1			21		10	42	+ 7
他 市								1	1	- 3
合 計	53	57	7	0	2	172	4	49	344	+ 57
前年比	+ 17	±0	- 8	±0	+ 1	+ 42	+ 2	+ 3	+ 57	

2 事故種別救助人員数

(1) 救助人員数は156人で、前年と比較すると23人の増加となっています。

(2) 事故種別毎の救助人員数で、最も多いのは「建物等による事故」の95人(60.9%)、次いで「交通事故」の29人(18.6%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	3	19	3		1	79	1	17	123	+ 19
稲美町		8	1			4			13	- 1
播磨町		2	1			12		4	19	+ 6
他 市								1	1	- 1
合 計	3	29	5	0	1	95	1	22	156	+ 23
前年比	- 1	+ 3	- 4	±0	+ 1	+ 29	- 2	- 3	+ 23	

3 傷病程度別救助人員数

事故種別・傷病程度別救助人員数を前年と比較すると、「死亡」は45人で1人の減少、「重症」は25人で16人の増加、「中等症」は52人で12人の増加、「軽症」は14人で12人の減少、「その他」は20人で8人の増加となっており、最も多い「中等症」については、全体の33.3%を占めています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
死亡	1		4			38		2	45	- 1
重症	1	10	1		1	9		3	25	+ 16
中等症	1	13				31	1	6	52	+ 12
軽症		4				5		5	14	- 12
その他		2				12		6	20	+ 8
合計	3	29	5	0	1	95	1	22	156	+ 23
前年比	- 1	+ 3	- 4	±0	+ 1	+ 29	- 2	- 3	+ 23	